



2006年度
特別勘定の現況
(世界分散型40AL(501)/世界分散型20AL(502))
決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用
状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>
お問い合わせ先 **0120-375-193**

* 受付時間: 平日9:00~17:00(土・日・祝日および12月31日から1月3日は休業とさせていただきます。)

STATE STREET
GLOBAL ADVISORS | SSGA

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート投信投資顧問株式会社

ステート・ストリート投信投資顧問株式会社は、世界有数の金融機関である米国ステート・ストリート銀行グループに属します。
1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。また、母体であるステート・ストリート・グローバル
アドバイザーズ(SSGA)は、世界有数の資産運用額を誇る米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門です。ステート・ストリート
銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統ある金融機関です。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていきますので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の現況(2006年度)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート投信投資顧問株式会社が作成した運用環境を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2007年1月～2007年3月]

【日本株式市場】

今四半期は、景気・企業収益に対する拡大期待が強まるなか業界再編期待も加わり、2月下旬まで堅調に推移しました。しかし、2月末に中国株の大幅下落に端を発した世界同時株安の余波を受け急落し、加えて不安定な円相場も影響したことで上値の重い展開が続き、TOPIXは1,713.61ポイントで終了しました。

【外国株式市場】

今四半期は、好調な企業業績に支えられ2月下旬頃までは各市場とも緩やかな上昇トレンドを辿りました。しかし、2月末に中国市場の急落の余波が各国の株式市場に波及したほか、3月には、米国の住宅ローン問題に起因する景気失速懸念が台頭し、世界的に株価が下落しました。しかし、その後は、米FOMCが今後の金融政策について利下げを含む表現に変更したことから海外の株式市場は上昇基調に転じて、期末を迎えました。

【日本債券市場】

前半は、高成長となった06年10-12月期GDPを受けて日銀が利上げを実施したものの、逆に材料出尽くし感から債券が買われる展開となりました。期後半に入ると、3月に発表された公示地価が16年ぶりに上昇へと転じ脱デフレが意識される中で、期末にかけて債券の高値警戒感が強まり利回りが上昇へ転じました。

【外国債券市場】

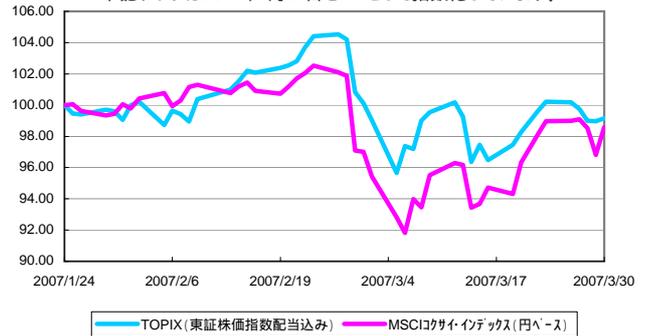
米国市場は、引き続き堅調な雇用や消費動向、低信用住宅ローン債券市場における大幅な価格下落、原油価格の反転上昇を受けたインフレ観測の強まりなど、種々の強弱材料が交錯する中で長期金利が一定の範囲内で上下する展開となりました。欧州市場は、各国景況感など域内経済の底堅さを示唆する経済指標が発表されたことに加え、欧州中銀による利上げや経済見通しの上方修正、インフレ懸念が債券の売り材料となり軟調な展開となりました。

【外国為替市場】

期中旬には日銀の追加利上げに加えて世界同時株安を受けたリスク資産縮小の動きから、一時円売りポジションの巻き戻しが進む局面もありました。しかし、その後株価の落ち着きを受けて市場においてリスク志向が改善すると、日本と海外市場の金利差を収益源とする円キャリートレードに支えられるかたちで円安基調が再開しました。期を通してみると、円は米ドルやユーロといった主要通貨に対して前期末とほぼ同水準で期末を迎えました。

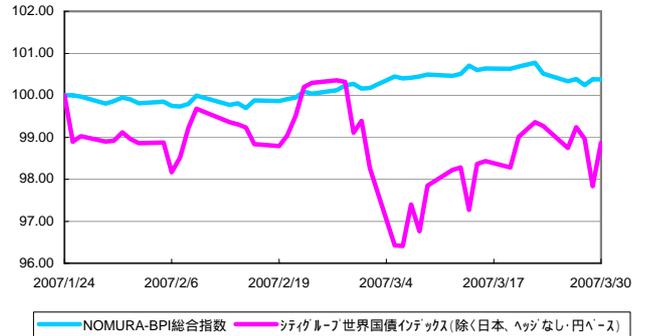
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。

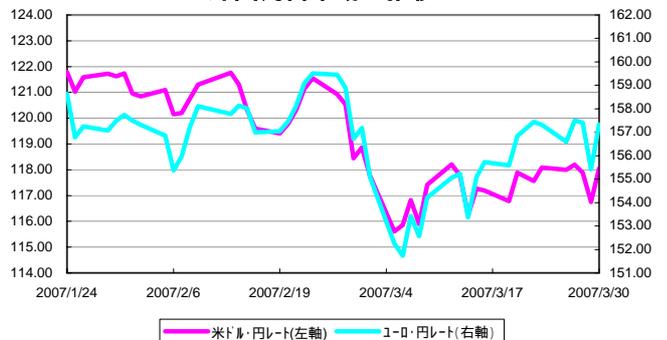


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の現況(2006年度)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート投信投資顧問株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定「世界分散型40AL(501)」の運用方針および運用状況 [2007年3月末日現在]

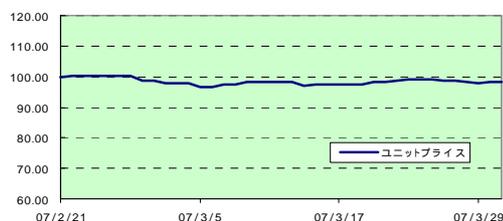
特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型40AL(501)	当特別勘定は主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
ステート・ストリート 4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>	<p>当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券20%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券30%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券20%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券30%*</p> <p>を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ないます。</p> <p>* 当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行ないません。 各受益証券の時価変動等に伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行ないます。</p> <p>当ファンドの主なリスク：価格変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、為替リスク</p>

特別勘定の運用コメント(2007年2月20日 - 2007年3月末日)

2006年度のユニット騰落率は1.63%となりました。株式資産については、米国の住宅ローン問題に起因する景気失速懸念や中国株の大幅下落の余波を受けて一時、調整しましたが、その後、ある程度の回復を示して、期末を迎えました。日本・外国株式への資産配分比率が合わせて40%を占めることから、株式市場の推移がユニットプライスに影響を与えました。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2007年3月末	98.36	過去1ヶ月	0.33
2007年2月末	98.68	過去3ヶ月	-
-	-	過去6ヶ月	-
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	1.63

- 世界分散型40AL(501)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月20日)を100.00として計算しております。
- 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40AL(501)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	2,233,949	92.4
現預金・コールローン	124,676	5.2
その他	58,267	2.4
合計	2,416,893	100.0

- 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	-
有価証券売却益	-
有価証券評価益	2,829
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	2,829

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の現況(2006年度)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート投信投資顧問株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定「世界分散型20AL(502)」の運用方針および運用状況 [2007年3月末日現在]

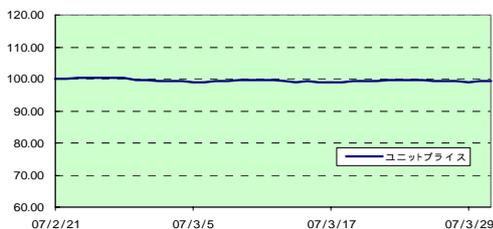
特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型20AL(502)	当特別勘定は主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
ステート・ストリート 4資産バランス20VA <適格機関投資家限定>	<p>当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券10%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券40%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券10%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券40%* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ないます。</p> <p>* 当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないます。 各受益証券の時価変動等に伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行ないます。 当ファンドの主なリスク：価格変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、為替リスク</p>

特別勘定の運用コメント(2007年2月20日 - 2007年3月末日)

2006年度のユニット騰落率は0.83%となりました。外国債券については、欧州中銀による利上げや欧州域内の経済見通しの上方修正を受けて軟調な展開となりました。資産配分比率が40%を占めることから、外国債券の推移がユニットプライスの騰落率に影響を及ぼしました。株式資産については、資産配分比率が日本・外国株式合わせて20%と相対的に低めであることから影響は限定的でした。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス		騰落率(%)	
2007年3月末	99.16	過去1ヶ月	0.57
2007年2月末	99.74	過去3ヶ月	-
-	-	過去6ヶ月	-
-	-	過去1年	-
-	-	過去3年	-
-	-	設定来	0.83

- 世界分散型20AL(502)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月20日)を100.00として計算しております。
- 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40AL(501)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	515,035	94.9
現預金・コールローン	19,081	3.5
その他	8,657	1.6
合計	542,774	100.0

- 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	-
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	684
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	684

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

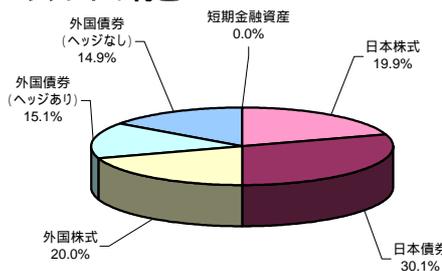
アクサ生命「AXA」 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の現況(2006年度)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート投信投資顧問株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート投信投資顧問株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

<参考>ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の運用状況[2007年3月末日現在]

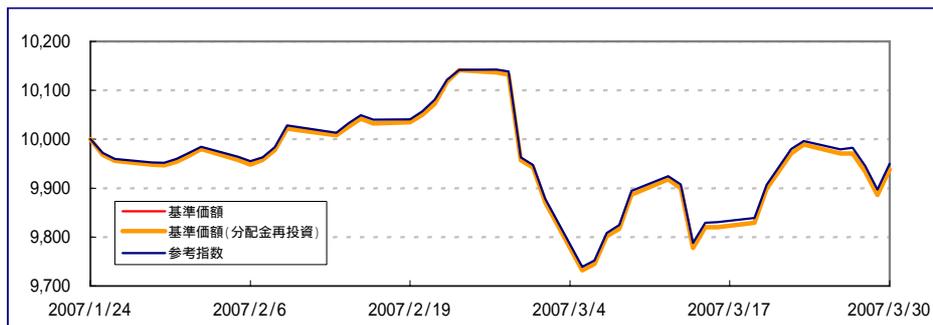
ファンドの特色



・グラフは2007年3月30日現在の資産構成比です。

基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)2.0%、NOMURA-BPI総合指数3.0%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)2.0%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)1.5%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)1.5%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2007/3/30	前月末	前月末比
基準価額	9,938円	9,957円	-19円
純資産総額(百万円)	2,051	350	1,701

	2007/3/30	日付
設定来高値	10,141	2007/2/23
設定来安値	9,732	2007/3/5

騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.19%	-	-	-	-	-0.62%
参考指数	-0.13%	-	-	-	-	-0.50%
差	-0.06%	-	-	-	-	-0.12%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	20.0%	19.9%
日本債券	30.0%	30.1%
外国株式	20.0%	20.0%
外国債券(ヘッジあり)	15.0%	15.1%
外国債券(ヘッジなし)	15.0%	14.9%
短期金融資産	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%

・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率です(投資信託財産総額比)。

国別および通貨別配分(上位5)

国名	純資産総額比	通貨名	純資産総額比
日本	50.1%	JPY	65.2%
アメリカ	19.1%	USD	14.7%
イギリス	4.9%	EUR	11.8%
ドイツ	4.8%	GBP	3.7%
フランス	4.5%	CAD	1.1%
その他	16.6%	その他	3.5%
合計	100.0%	合計	100.0%

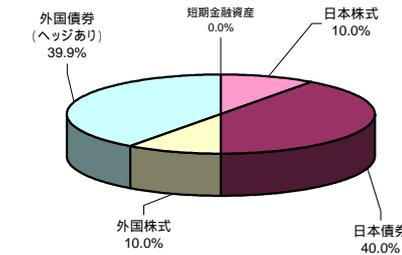
・純資産総額比は為替ヘッジ後です。

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の現況(2006年度)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資投資信託の委託会社であるステート・ストリート投信投資顧問株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート投信投資顧問株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

<参考>ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2007年3月末日現在]

ファンドの特色



・グラフは2007年3月30日現在の資産構成比です。

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式及び公社債等に投資を行います。

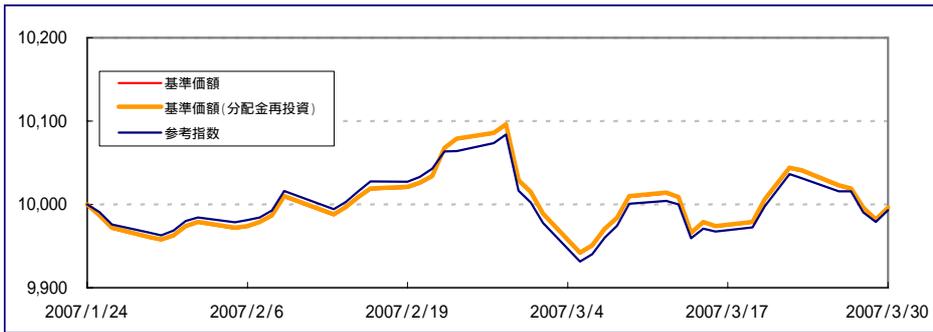
当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

- ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券:「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
- ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券:「NOMURA-BPI総合指数」
- ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券:「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」
- ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券:「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数40%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)10%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2007/3/30	前月末	前月末比
基準価額	9,995円	10,028円	-33円
純資産総額(百万円)	488	52	435

	2007/3/30	日付
設定来高値	10,095	2007/2/27
設定来安値	9,941	2007/3/5

騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.33%	-	-	-	-	-0.04%
参考指数	-0.23%	-	-	-	-	-0.07%
差	-0.10%	-	-	-	-	+0.03%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.0%	10.0%
日本債券	40.0%	40.0%
外国株式	10.0%	10.0%
外国債券(ヘッジあり)	40.0%	39.9%
短期金融資産	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%

・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率です(投資信託財産総額比)。

国別および通貨別配分(上位5)

国名	純資産総額比	通貨名	純資産総額比
日本	50.2%	JPY	90.3%
アメリカ	16.8%	USD	5.2%
ドイツ	5.7%	EUR	1.7%
フランス	5.1%	GBP	1.2%
イタリア	5.0%	CAD	0.4%
その他	17.1%	その他	1.3%
合計	100.0%	合計	100.0%

・純資産総額比は為替ヘッジ後です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命「ムベ」 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

ご契約者等にご負担いただくこの保険の費用は、次のとおりです。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して5.0%
		特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%
		毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	特別勘定の運用等に必要の費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.2625%程度 (税抜0.25%程度)*
		特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用が含まれますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】 年金の種類を変更した場合や「年金払特約(06)」により年金としてお受け取りいただく場合です。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要の費用	年金額に対して1.0%*
		年金支払日に控除します。

*年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。一般勘定で運用する年金の支払期間中は、他に年金管理費がかかります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額(終身型)

受取総額保証金額の最低保証は、年金を特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。特別勘定終身年金以外の方法でお受け取りいただく場合や、積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。